



運営推進会議開催報告書

令和 7 年 6 月 25 日

事業所名	特別養護老人 アルメイダメモリアルホーム		
担当者	佐藤 幸恵	電話番号	097 - 568 - 2561

1 開催日時	令和 7 年 6 月 25 日
--------	-----------------

2 開催場所	特別養護老人アルメイダメモリアルホーム 3F会議室
--------	---------------------------

3 出席者	出欠		
(1) 委員 6 人	出	宇田 龍	(利用者・家族分野)
	出	後藤 俊一	(地域住民の代表者、サービスに知見を有する者分野)
	出	足立 秀俊	(地域住民の代表者、サービスに知見を有する者分野)
	出	田原 信夫	(地域住民の代表者、サービスに知見を有する者分野)
	出	高山 智恵子	(種田東地域包括支援センター職員)
	欠		(大分市長寿福祉課職員)
	出	佐藤 等	(事業所代表)
(2) 事務局 2 人		佐藤 幸恵	生活相談員
		岩本 法子	事務職員

4 活動状況報告	別紙・会議資料のとおり
----------	-------------

5 活動状況に関する評価	
--------------	--

	施設の運営状況、入退所状況、レクリエーション、面会対応、感染症・災害対策、各種委員会、行事について
--	---

6 要望、助言	
①	特になし
②	
③	
④	
⑤	

7 要望、助言に対する考え方	
①	特になし
②	
③	
④	
⑤	

8 その他特記事項	
①	特になし
②	
③	
④	
⑤	

令和7年度

第2回「アルメイダメモリアルホーム地域密着型サービス」運営推進会議

○ 日 時 : 令和7年6月25日(水) 11時00分

○ 場 所 : アルメイダメモリアルホーム3階 地域交流室

次 第

1. 開 会

2. 施設長あいさつ

3. 議 題

- (1) 施設の運営状況について
- (2) 質疑応答(要望、助言等)
- (3) その他

4. 閉 会

社会福祉法人 大分福祉会

(特別養護老人ホーム アルメイダメモリアルホーム)

(1) 施設の運営状況について

① 入所者の状況(令和7年5月末現在)

性 別	入所者数	平均介護度	平均年齢
女性	18人	4.5	88.6
男性	4人	4.3	80.8
合 計	22人	4.5	87.2

② 入退所者の状況(令和7年4月～令和7年5月)

	新入所	入所経路	退所者	退所理由	在居期間
令和7年 4月	男性 1名		男性 0名		
	女性 1名	本館から移動	女性 2名	・本館へ移動 ・自宅へ	6年9ヶ月 0年0ヶ月
5月	男性 0名		男性 0名		
	女性 1名		女性 0名		
計	男性 1名		男性 0名		
	女性 2名		女性 2名		

現在、入所率 100%

※地域密着型：令和6年3月5日～令和7年1月16日まで入所率 100%

※地域密着型：4月～3月の令和6年度通期(1年間)の入所率 99.39%(常に21.87人が入所)

③ 前年度の入退所者の状況（参考）

新館（ユニット型個室）

月 別 内 訳		令和6年									令和7年			合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
月初日現在居者数		A	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	22	
月 初 日	新規入居	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	退 居	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月初日在居者数（A + B - C）		D	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	22	
2日 々 末	新規入居	E	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	
	退 居	F	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	1	
月末日入居者数（D + E - F）			22	22	22	22	22	22	22	22	20	22	21	
延 人 数			660	632	660	632	632	660	632	660	632	530	669	7,961 人
入 居 率（%）			100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	97.07	94.16	93.09	99.14 %
1日当り入居者数			22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	21.30	20.70	21.50	21.81 人
当 月 中	入 居 者 数（B + E）		0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	5 人
	退 居 者 数（C + F）		0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	1	6 人
退 去 理 由	死 亡										3		1	4 人
	入 院													0 人
	帰 宅													0 人
	施設間異動 （多床室 ⇄ ユニット個室）					1		1						2 人
	他施設へ													0 人

④ ショートステイ利用状況

利用実績なし

⑤ 施設全体行事

4月：お花見、JKA補助事業交付式

※JKA＝競輪・オートレースの公営競技で得た利益を社会福祉等に支援する団体

5月：夏季健康診断（夜勤者のみ）、BCP訓練（停電）、消火放水訓練

地域密着型（個室）の各フロアの共用部に見守りカメラ設置

6月：大分大学実習生受入れ（6/16～20）、大分南高校実習生受入れ（6/25～）

※大学生は教員免許取得に伴う介護等体験実習

■4月の記録より 「JKA補助事業交付式」(全体行事)

公益財団法人JKA様より、大分県では唯一【特殊入浴装置】の補助金を採択していただき、今よりも性能の高い入浴機器の導入を進めております(採択率30%程度。現在、事業進行中です)。

補助をいただくからには、利用者様の安全な入浴・介護職員の腰痛対策など、業務に生かしていきたいと思っております(下記掲載写真は補助金交付式に招待していただいた時の写真です)。



後列左より、JKA常務理事、長野 別府市長、オートレース・中村杏亮 選手、競輪・阿部将大 選手。前列は補助事業者。



※ JKA補助事業交付式は大分合同新聞をはじめ全国誌で掲載されています。

■5月の記録より 「消火・放水訓練」(全体行事)

新日本消防設備様より、年2回 消火・放水訓練をしていただいております。
今後も、急な災害・事故に備え、日頃から訓練を実施していきます。



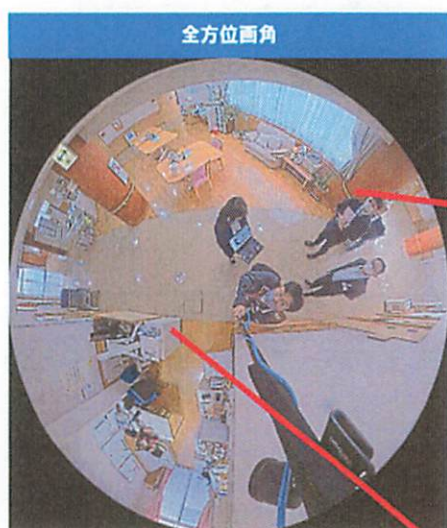
■5月の記録より 「地域密着型（個室）の各フロア共用部に見守りカメラ設置」（全体行事）

地域密着型（個室）の各フロアに 360° カメラを2台ずつ設置し、集音マイクもリビングに設置しました。

設置目的は、職員の目が行き届いていない場面での「転倒」や「車椅子からのずり落ち」等に対し、「頭部の打撲はないか」等の早期状況把握による利用者様を守ることです。

当該、見守りカメラを設置することで、大部屋の居室内を除き利用者様の生活スペースについては、見守りカメラが完備され、外部からの防犯も含め、さらなる見守り体制が構築されたといえます。

Cam1 デモ画像（オーバービュー）



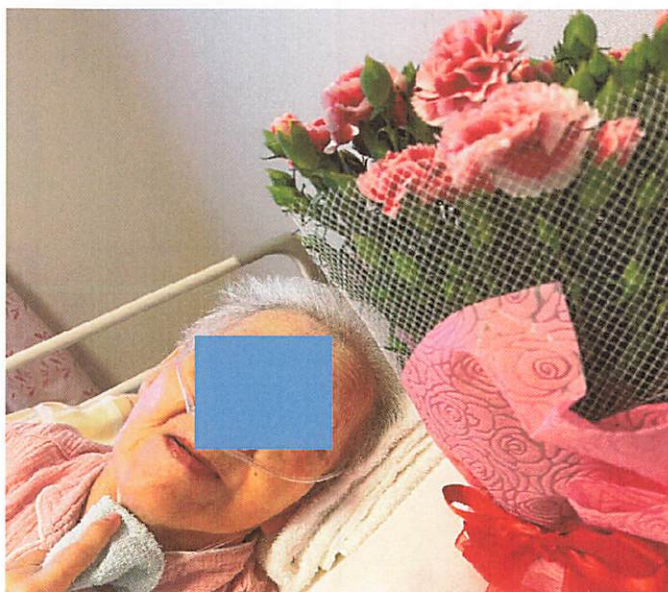
☑ 全方位カメラ1台で見渡せる範囲全てカバー可能です！

◆「行事食」（施設全体）

季節を感じていただくために、四季折々の料理や飾り付けをした「行事食」をメモリアルホームでは提供しています。5月「母の日」・6月「父の日」でした。

また、行事食以外にも誕生日お祝いを兼ねたご飯とメッセージカードをお送りしています。顔写真付きで皆様からご好評いただいています。

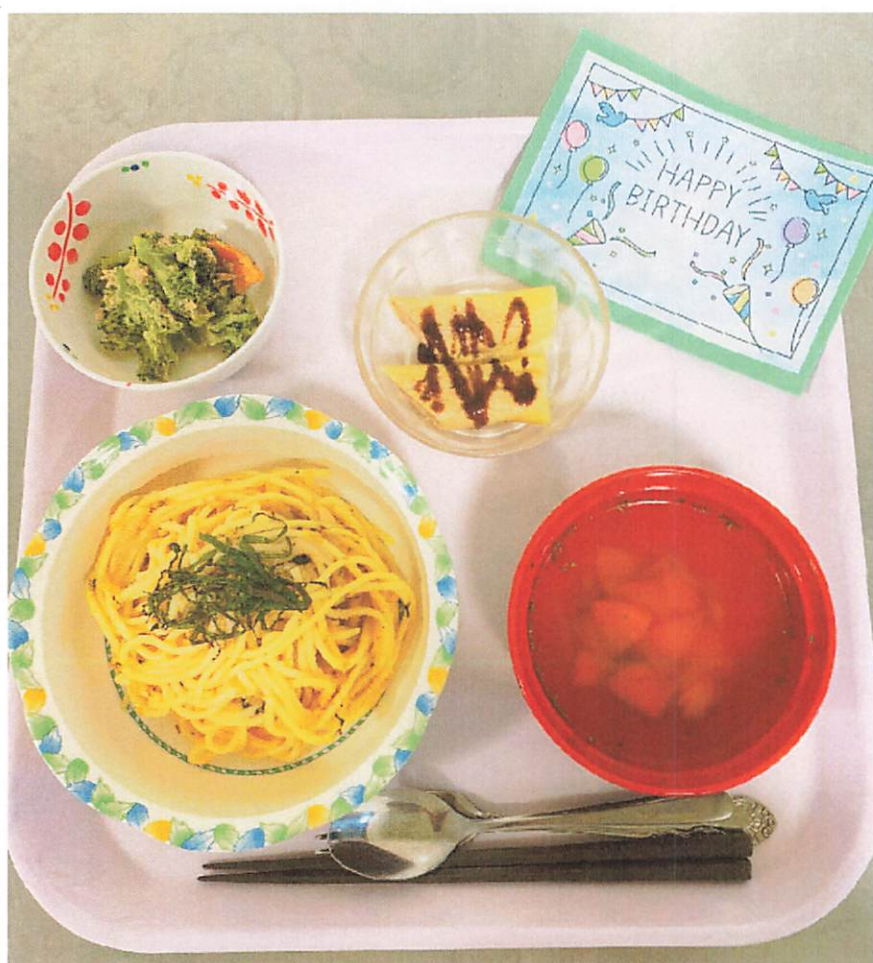
🌸「母の日」🌸



🌻 6月「父の日」 🌻



🍰【誕生日食】🍰



■現在の面会方法について（変更あり）

感染状況に応じ、適宜面会方法を変更し、6/3 からは、本館ご利用者は、1 名の場合は、居室面会・2 名以上の場合は「セミパブリックルーム」と「相談室」の 2 箇所、新館ご利用者は、「各居室」で面会を行うように変更しました。

本館：（1 名）面会時間：10：30～11：30 / 15：30～16：30 の間で 30 分（事前予約なし）

（2 名以上）面会時間：10：30～/11：00～/15：30～/16：00～ 15 分程度（事前予約制）

新館：面会時間：10：30～11：30 / 15：30～16：30 の間で 30 分（予約なしで可）

※土日祝の面会にも対応しています。

■新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う面会方法の推移（変更なし）

※令和2年3月～は省略

令和4年 1月 「ガラス越し（本館玄関風除室とホール）」での面会

令和5年 5月 「セミパブリックルーム」「新館居室」での面会

令和5年 7月 「ガラス越し（本館玄関風除室とホール）」での面会

令和5年11月 「セミパブリックルーム」「新館居室」での面会

令和7年1月6日～ 面会方法を時間指定あるものの面会フリー制へ

→ ①コロナ感染拡大に伴い1/7～1/14まで面会中止

→ ②感染対応を延長し2/3まで面会中止

令和7年2月4日～ フリー制ではなく従前の予約制面会で再開（本館の面会会場を1箇所増加）

令和7年6月3日～ 本館も1名の場合のみ、居室面会開始・新館は1時間フリー制へ

■体調管理について

入所者の方は、朝・昼・夕の3回体温測定。職員は令和6年4月～、朝・昼・夕の体温測定を朝の体温測定1回に変更し、体調管理を行っています。

なお、「感染（陽性）」「濃厚接触者」となった場合は、行政機関（大分市・大分市保健所）の指針に従って対応しています。

■感染症対策委員会

高齢者施設は、感染症に対する抵抗力が弱い高齢者が、集団で生活し活動する場であることから、感染が広がりやすい状況にあることを認識し、利用者を感染症から守るため、平常時から感染予防対策を実施しています。感染症発生時には迅速かつ適切な対応を図ることができるように「アルメイダメモリアルホーム感染対策指針」を定め、指針のもと感染症対策を行っています。

当施設では感染症対策委員会を設置し、毎月1回開催しています。また、施設長の招集により必要に応じて臨時に開催しています。

【開催状況と議題】

令和6年4月4日「各種感染症対策、職員の検温の回数・仕方について」
令和6年5月2日「市内の感染症の動向、感染症対策の徹底について」
令和6年6月6日「施設内の感染症対策の徹底について」
令和6年7月4日「コロナ発生時の事例発表・今後の対応」
令和6年8月1日「コロナ発生時の検討課題について」
令和6年9月5日「コロナの感染経路について、手指消毒の徹底について」
令和6年10月10日「業務中や日常生活における感染症対策について」
令和6年11月7日「感染対策や、今後の面会制限について」
令和6年12月5日「感染症の流行に備えて、施設内の感染対策について」
令和7年1月14日（臨時開催）「R7.1発生コロナ感染拡大に伴う1/15以降の各種方針等の協議・決定」
令和7年2月3日（臨時開催）「2月4日以降の面会等方針の協議・決定」
令和7年3月27日（臨時開催）「新年度の面会等方針の協議・決定」

※臨時開催分を除き、直近1年分を記載しています

⑦ 事故防止・身体拘束廃止に向けた取り組み

■事故防止委員会

施設内での介護事故を未然に防止し、安全かつ適切な質の高いケアを提供することを目標にしています。そのために、必要な体制を整備するとともに、利用者一人ひとりに着目した個別的なサービス提供を徹底し、組織全体で介護事故の防止に取り組んでいます。

当施設では事故防止委員会を設置し、3ヶ月に1回開催しています。委員会では、事故の未然防止・再発防止のための方策立案、施設内で起こった事故に対して要因分析、職員への周知、情報共有を行っています。

【発生状況】 期間：令和7年4月～令和7年5月（地域密着型ユニット）

- ・事故報告 2件（転倒2件）
- ・ヒヤリハット 12件

※ヒヤリハット…事故には至らなかったが「ヒヤッ」「ハッ」とする状況のこと。

■身体拘束廃止委員会

利用者に対して人格と尊厳を守ることを第一とし、利用者の日々の生活機能が維持向上されるようにケアを行っており、利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束は行いません。ケアプランの策定にあたっては、多職種連携で利用者のアセスメントに取り組み、身体拘束に頼らず日々の生活が送れるよう取り組んでいます。やむを得ず身体拘束を行う場合は、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」を策定し、ご家族に拘束が必要な理由等の説明を行い、同意を得た上で実施しています。

当施設では身体拘束廃止委員会を設置し、毎月1回開催しています。委員会では身体拘束を行っている利用者の経過観察や解除に向けての対策について、話し合いを行っています。

介護保険指定基準の身体的拘束禁止規定

「サービスの提供にあたっては、当該入所者(利用者)又は他の入所者(利用者)等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他入所者(利用者)の行動を制限する行為を行ってはならない。」

【発生状況】 期間：令和7年4月～令和7年5月（地域密着型ユニット）

- ・オムツホルダー 1件
- ・ミトン 1件

【事故防止委員会・身体拘束廃止委員会の開催状況】

令和7年4月25日

令和7年5月16日

(2) 質疑応答（要望、助言等）

(3) その他